

MOUSA²

ムーサ

令和5年度

高等学校用教科書 音楽Ⅱ

27教芸 (令和5教 内容解説資料)

この資料は、一般社団法人教科書協会の定める「教科書発行者行動規範」に則って作成しています。



目次

MOUSA2の特徴	3
MOUSA1の流れを引き継いで	4
MOUSA2の新たな企画	6
デジタル・コンテンツの 活用につなげる	8

MOUSA2掲載曲	9
QRコンテンツの充実	10
年間指導計画例	12
指導書について	14
検討の観点別に見た特色	15

MOUSA は、
ムーサ

「卒業後も手元に残しておきたい教科書」であることを
刊行以来のコンセプトにしています。

令和5年度から使用される新しいMOUSA2では、
MOUSA1の流れを継承しつつ、音楽をより深く学べるようにしました。



扱いやすい教材

MOUSA1に引き続き、生徒に日々接している先生方の実践的なアイディアを具現化しました。歌唱・器楽教材については著者と編集部が試演を重ね、創作教材では具体例を挙げて手順を丁寧に示しています。生徒どうしの会話による楽曲分析を提案する「大解剖」シリーズでは、《からたちの花》を取り上げました(→本書P.4)。

音楽の学びをより深める

さまざまなジャンルから、教材として音楽の学びをより深めることのできる曲を厳選して掲載しました。「ジャンル別MAP」を示すことにより、生徒が幅広く音楽と関わるができるよう配慮しています。また、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化に関連付けた内容として、ミュージカルや映画音楽も取り上げました(→本書P.6)。

ジャンル別MAP【歌唱・器楽編】

歌唱

- Alleluja ▶P.10
- 誰かがちいさなベルをおす ▶P.24
- 浜辺の歌 ▶P.25
- からたちの花 ▶P.26
- Funiculi-Funicula ▶P.37
- Nel cor più non mi sento ▶P.38
- Vaga luna, che inargenti ▶P.40
- Quando me n'vo, soletta per la via ▶P.42
- Je te veux ▶P.44
- Sehnsucht nach dem Frühlinge ▶P.47
- Der Lindenbaum ▶P.48
- Der Vogelfänger bin ich ja ▶P.50

ウクレレ

- Kaimana Hila ▶P.30
- Happy Birthday to You ▶P.31
- Crazy G ▶P.31

ソルフェージュ ▶P.20

ポピュラーソング

- SUN ▶P.12
- 歩いて帰ろう ▶P.13
- One more time, One more chance ▶P.14
- 朱 ▶P.16
- ハナミズキ ▶P.18
- 天体観測 ▶P.32
- The Phantom of the Opera ▶P.66
- All I Ask of You ▶P.67
- 涙そうそう ▶P.74
- Tears in Heaven ▶P.84
- Can't Take My Eyes Off of You ▶P.86
- We've Only Just Begun ▶P.87
- 上を向いて歩こう ▶P.88

ギター

- 天体観測 ▶P.32
- 愛のロマンス ▶P.83
- Tears in Heaven ▶P.84

合唱曲

- 糸 ▶P.16
- ハナミズキ ▶P.18
- Funiculi-Funicula ▶P.37
- 夏は来ぬ ▶P.51
- 赤とんぼ ▶P.90
- 夕ぐれ ▶P.92
- 明日の木 ▶P.95

世界の諸民族の音楽

- ラ・クンバルシータ ▶P.82

アンサンブル

- Prelude III ▶P.23
- シンコペータッド・クロック ▶P.56

和楽器

- 三線 ▶P.74
- 涙そうそう ▶P.74
- 安里屋コタ ▶P.76
- 篠笛 ▶P.77
- おぼろ ▶P.77
- 琴 ▶P.79
- (一般) ▶P.79

長唄

- 《結後獅子》 ▶P.72

心の歌

- 夏は来ぬ ▶P.51
- 赤とんぼ ▶P.90

リコーダー

- 夏は来りぬ ▶P.52
- 冬 ▶P.53
- ソナチネ ▶P.54
- ラ・クンバルシータ ▶P.82

ヴォイス・アンサンブル

- The Phantom of the Opera ▶P.66
- All I Ask of You ▶P.67
- 上を向いて歩こう ▶P.88

【資料編】

口絵

- Invitation to Music! ▶P.2
- 文豪 ▶P.4
- 歌舞伎 ▶P.5
- ライブで楽しもう! ▶P.6

歌唱

- ヴォイス・トレーニング ▶P.10
- 《Alleluja》を歌う際 ▶P.11
- 詩の心を大切に歌おう ▶P.17
- 日本語の歌の歌い方 ▶P.17
- からたちの花 大解剖! ▶P.28
- イタリア語の歌を歌おう ▶P.36
- フランス語の歌を歌おう ▶P.43
- ドイツ語の歌を歌おう ▶P.46
- 長唄に親しもう ▶P.72

器楽

- ウクレレ ▶P.30
- Let's Play the GUITAR 1 ▶P.33
- リコーダーの演奏 ▶P.52
- リコーダー(アーティキュレーション) ▶P.53
- 三線 ▶P.75
- 篠笛 ▶P.77
- 琴 ▶P.78
- Let's Play the GUITAR 2 ▶P.83
- Let's Play the GUITAR 3 ▶P.85
- ギター/キーボード/コード表 ▶P.116

歴史

- 日本の「うた」の作曲家たち ▶P.24
- 日本音楽の流れ ▶P.68
- 琵琶について ▶P.70
- 郷土の音楽 ▶P.73
- 「横紋」ってなに? ▶P.78
- 西洋音楽の流れ ▶P.110
- 作曲家の年表と主な作品 ▶P.118

その他

- ルールを守って音楽を楽しもう! ▶P.15
- 愛楽曲 ▶P.39
- フランス語に由来する言葉 ▶P.43
- サティとモントマルトル ▶P.45
- 音楽を聴きなさいさまざまな要素 ▶P.98

楽典

- 楽典 ▶P.112
- 西洋音楽の用語と記号 ▶P.115

(教科書P.8・9 ジャンル別MAP)

多角的な視点

表現と鑑賞の一体化を図った教材(→本書P.6・7)を取り上げるなど、多角的な視点から一つの作品にアプローチできるよう工夫している他、〔共通事項〕を手がかりに学習を進めることのできる教材(→本書P.5)を通して、「主体的・対話的で深い学び」の本質に触れることができます。

QRコンテンツの充実

QRコンテンツを用いて、視聴したり調べたりする学習活動を充実させました。表現教材では、朗読やリズム読みによる原語歌詞の発音を、器楽教材では、楽器の仕組みや奏法などを、紙面のみでなく、音声や動画などでも確認することができます(→本書P.10・11)。

ム一サ

「主体的・対話的で深い学び」の本質に触れることができます。

29

Point ⑥ 歌の旋律に「が」履れる。

Point ⑦ 繊細な表現が求められる。 *poco a poco*

Point ① 歌詞が6つの節からできている。

歌詞が6つの節が構成されていて、どれも「カズカ」
といけ言葉で始まっています。

行末が全て「〜よ」となっているので、話しかけているようです。

「白い白い」のよけい言葉と繰り返す箇所も各節で共通ですね。

詩にリズムが生まれてきているようです。

Point ② 話すような旋律になっている。

旋律の動きは8分音符の連続に決まっています。

言葉の抑揚と音の高低が合っているのです。
話すように歌えますね。

言葉のまとりや流れを意識すると、歌に自然な
緩急が付くと思います。

Point ③ 拍子が何度

たがえたり拍子が変わったり

言葉のまとりや旋律

Point ④ 旋律が大きい

第1節には「は」といって歌が
2節目には旋律が大きく跳
分)。しが「あ」の音が長く

高い音で歌い始める
すにやこかくレシンド
がり深く低くつてくるよう

第4節でも第2節に旋律が戻ります。「あういもうい」
の音階は1音の音階の上と下になっているのは、これまで
ありませんでした。

強弱の起伏も大きくなっていきます。が、使われて
いるのは、曲中ではここだけです。

この曲の音階やリズムに込められた気持ちや想像する
ことも、大事なことだと考えられます。

Point ⑤ 冒頭の旋律が再現される。

第6節は第1節と同じリズムで、旋律も最後以外は
変のめません。同じリズムでいけるのもいいですね。

第1節に「かえ」(cavando「カウタツ」)
の語呂合わせがあります。

最後の高いEの音は♯でフルマータがけしてい
ます。このようにメロジで歌うんですよ。

Point ⑦ 繊細な表現が求められる。

第5節は♯で始まります。[sempre sotto voce (常
に静かに弱く声)]の歌い方でも大得意ですね。

音楽を聴くさまざまな音楽 98

真典 112

▽ 発声の基本と実践

基本的な発声を身に付けるために最適な教材《Alleluja》を扱ったこのページは、1年を通して活用することができます。

10

Alleluja

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト 作曲 / 片岡千恵蔵 二編曲

♩ = 116 ~ 126

11

VOICE TRAINING

ヴォイス・トレーニング

◎ 安定した呼吸を続けるには、肋骨の開きを維持することが大切。

上半身が硬いと肋骨が開きにくくなるので、あらかじめ、胸を広げながら息を吸う。後ろで手を組んで胸を反らせる。体を左右にひねるなどのストレッチを行っておくこと。

肋骨を広げながら吸った息を、コントロールしながら吐き出して歌うためには、広げた肋骨を閉じないように保つことが大切である。息が残り少なくなってくると体に力が入ってしまう。肋骨が閉じて肩が内側に入るため背中が丸くなりかねないので、気を付けよう。

● 安定した呼吸を続けるための EXERCISE

①【吸】 ② 心の中で1〜5まで数えながら、喉の奥に涼しい息を送り込むように鼻から息を吸う（喉の奥が開いた状態になる）。

②【止める】 吸った息を止め、1〜5まで数える（喉の奥を開いたまま維持する）。

③【吐】 ④ 1〜5まで数えながら吸ったときと同じ速さで口から息を吐く。

①〜③の動作を、数える数を1つずつ増やしながら繰り返す。

◎ 声をよく響かせるためには、喉の奥が開いていることが大切。

私たちの体には、音が響く空間（咽頭、口腔、鼻腔など）がある。声帯が振動して発生した音を、それらの空間でバランスよく共鳴させることで、よく響くようになる。喉の奥に涼しい息を送り込むように鼻から息を吸い、あくびをするようなつもりで口を開ける。この状態を保って歌う練習をしよう。

◎ 高音域を無理なく発声するためには、音高を滑らかに上下させて歌う練習が効果的。

肩や首などに力が入っていると、楽に声を出すことができない。緊張を解くためには、リップロール、ハミング、任意の母音などで音高を滑らかに上下させて歌う練習をする。その際、音程を少しずつ広げるようにしよう。

※リップロール：唇を合わせた状態で息を吐き、唇をプルプルと振動させること。リップリルともいう。

VOICE TRAINING

ヴォイス・トレーニング

◎ 安定した呼吸を続けるには、肋骨の開きを維持することが大切。

上半身が硬いと肋骨が開きにくくなるので、あらかじめ、胸を広げながら息を吸う。後ろで手を組んで胸を反らせる。体を左右にひねるなどのストレッチを行っておくこと。

肋骨を広げながら吸った息を、コントロールしながら吐き出して歌うためには、広げた肋骨を閉じないように保つことが大切である。息が残り少なくなってくると体に力が入ってしまう。肋骨が閉じて肩が内側に入るため背中が丸くなりかねないので、気を付けよう。

● 安定した呼吸を続けるための EXERCISE

①【吸】 ② 心の中で1〜5まで数えながら、喉の奥に涼しい息を送り込むように鼻から息を吸う（喉の奥が開いた状態になる）。

②【止める】 吸った息を止め、1〜5まで数える（喉の奥を開いたまま維持する）。

③【吐】 ④ 1〜5まで数えながら吸ったときと同じ速さで口から息を吐く。

①〜③の動作を、数える数を1つずつ増やしながら繰り返す。

◎ 声をよく響かせるためには、喉の奥が開いていることが大切。

私たちの体には、音が響く空間（咽頭、口腔、鼻腔など）がある。声帯が振動して発生した音を、それらの空間でバランスよく共鳴させることで、よく響くようになる。喉の奥に涼しい息を送り込むように鼻から息を吸い、あくびをするようなつもりで口を開ける。この状態を保って歌う練習をしよう。

◎ 高音域を無理なく発声するためには、音高を滑らかに上下させて歌う練習が効果的。

肩や首などに力が入っていると、楽に声を出すことができない。緊張を解くためには、リップロール、ハミング、任意の母音などで音高を滑らかに上下させて歌う練習をする。その際、音程を少しずつ広げるようにしよう。

※リップロール：唇を合わせた状態で息を吐き、唇をプルプルと振動させること。リップリルともいう。

(教科書 P.10・11)

音楽を形づくっている要素について分かりやすく解説

▽ [共通事項]を手がかりに学習を進めることのできる教材

「音楽を織りなすさまざまな要素」を参考に、音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを主体的に捉えることができます。

98

音楽を織りなすさまざまな要素

音楽は、さまざまな要素が関わり合っている。これらの要素の働きを理解し、表現や鑑賞の学習を生かそう。

音色

音質や音の高低にかかわらず特有の音として認識できるものなど

声：女声／男声

曲種に応じた声（オケの声／人声の民謡の声）

楽器：いろいろな楽器の音色

奏法による音色の違い（薩摩琵琶のサワリ／箏の撥打／ヴァイオリンを弓で弾く音と指で弾くピッチカートの前）

身の回りの音：自然音や環境音

テクスチャ

和音や和声、音や旋律の重なり方など

モノフォニー：単旋律

ポリフォニー：複数の独立した旋律の組み合わせ（更には重なり）

ホモフォニー：主旋律と和声的伴奏の組み合わせ（Schnitz nach dem Frühlings）

日本の伝統音楽の音や旋律の重なり

リズム

拍や拍子、曲を特徴付けているリズムなど

拍：音楽の流れの中で等間隔で刻まれる時間の単位

拍子：拍のまとまりにみられる周期性

いろいろなリズム：

3連拍 スウィング

シンクベーション

世界の諸民族の音楽や日本の伝統音楽のリズム：

拍数的な（拍のある）リズム（例：アフリカン・ダンス）

強弱

音量の設定、強弱の変化や対比など

一定の強弱を示す記号：pp - p - mp - mf - f - ff

強弱の変化を示す用語：dim. decresc. cresc.

形式

楽曲形式、形式にとられないスタイルなど

通常、8小節のまとまりを「大楽節」といい、「続く感じ」の前半4小節と「終わる感じ」の後半4小節に分けることができる。この4小節のまとまりを「小楽節」と呼ぶ。説明の際、大楽節にはA,B,C、小楽節にはa,b,cを用いることが

99

音楽の要素に着目して、2つの曲を聴き比べよう

イタリアの作曲家ヴィヴァルディ（1678～1741）が作曲した（冬）（1725年頃出版）と、アルゼンチンの作曲家ピアソラ（1921～1992）が作曲した（ブエノスアイレスの冬）（1969年発表）は、どちらもタイトルに「冬」が用いられている。作られた時代や地域の異なる2曲が、それぞれ「冬」をどのように表現しているのか聴き比べよう。

「和声と創意の試み」第1集（四季）から「冬」

アントニオ・ヴィヴァルディ 作曲

（四季）は、独奏ヴァイオリンと弦楽合奏、通奏低音のための協奏曲（～P.110）である。（春）（夏）（秋）（冬）の4曲からなり、それぞれ冬～春～夏～秋を基本とする3つの楽章で構成されている。各曲には作者不明のソネットが添えられており、標題音楽（～P.111）の文脈的作品であるといわれている。

※ソネット：13世紀頃からイタリアで作られるようになった14行からなる定型詩。

● 第1楽章：独奏ヴァイオリンによる急速な旋律。

Allegro non molto

● 第1楽章：リズムカナル音型の反復。

この音型が反復される

● 第2楽章：ピッチカートなどの伴奏のせて演奏される旋律。

Largo

「痛みのポイント」

音楽の要素に着目して鑑賞し、共通点を話し合おう。

（四季）の演奏：エウロパ・ガラランテ 独奏ヴァイオリン：ヒビコ・ヤンディ

ヴィヴァルディは、ヴァイオリン奏者の父親から音楽の手ほどきを受けた。1703年からヴェネツィアのバジリカ・デ・ラ・マッジョーレでヴァイオリン教師を務める他、作曲家、指揮者としても活躍した。彼は、この音楽院の演奏会のために数多くの作品を残している。500曲以上ある協奏曲では、（冬）のようにヴァイオリンを独奏楽器とする作品が多い。

(教科書 P.98・99)

5

新しいMOUSA2の新たな企画

ムーサ

生活や社会の中の音や音楽、音楽文化の中でも触れる機会が多いと思われるミュージカルや映画音楽を取り上げ、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽への理解を深め、創意工夫を生かした音楽活動につなげることができるような教材を用意しました。

ミュージカル

《オペラ座の怪人》

64 The PHANTOM of the OPERA ミュージカル オペラ座の怪人 アンドリュー・ロイド・ウェバー作曲

《オペラ座の怪人》は、フランスの作家ガストン・ルルー（1868～1927）がパリ・オペラ座（ガルニエ宮）で起こった出来事を引用して書いた同名の怪奇小説を原作とする。1986年にロンドンのウェスト・エンドで初演されたこの作品は、ミュージカル・ナンバーの中心で、劇場の観客に訴える。この作品は「プロダクション」として、ミュージカルの発展にもつながっている。

●歌、せりふ、踊りなどが一体となったミュージカルの表現の特徴を感じ取る。
●自分の気に入った曲を選び、その表現やよさを伝えよう。

65 ラブ・ストーリー？ それともホラー？ ～クリスティーンをめぐる三角関係

クリスティーン・ダウエー
ラウル・シモン・ニキエー
プリマドンナとは？

第2幕 半年後、パリ・オペラ座

Think of Me
Angel of Music
The Music of the Night
All I Ask of You
The Point of No Return

（教科書P.64・65）

●掲載曲：《The Phantom of the Opera》（教科書P.66）／《All I Ask of You》（教科書P.67）

映画音楽

100年以上にわたり、多くの人々を夢中にさせてきた映画において、今や音楽は欠かせないものとなっています。MOUSA2では見開きで映画音楽を特集。左ページでは、作曲家とその代表的な映画音楽や、クラシック音楽が使われている映画を紹介し、右ページでは、映画『ハリー・ポッターと賢者の石』を取り上げ、あらすじと主要なテーマを鑑賞のヒントとして掲載しています。

62 映画を彩る音楽

100年以上にわたり、映画は多くの人々を夢中にさせてきた。私たちスクリーンを通じて新しいものに会った。あるが、今や音楽は映画に欠かせない重要な役割を占めている。作品に彩りを添える映画音楽を聴いてみよう。

作曲家と主な映画音楽

●ハンス・ジマー
『ライオンキング』1994
『インディ・ジョーンズ』1981
『ジュラシックパーク』1993
『ロード・オブ・ザ・リングス』2001
『スターウォーズ』1977
『トイストーリー』1995
『タイタニック』1997
『ジュラシックパーク2』1997
『ジュラシックパーク3』2001
『ジュラシックパーク4』2003
『ジュラシックパーク5』2008
『ジュラシックパーク6』2013
『ジュラシックパーク7』2015
『ジュラシックパーク8』2018
『ジュラシックパーク9』2021
『ジュラシックパーク10』2023

●マイケル・ナイマン
『ジュラシックパーク』1993
『ジュラシックパーク2』1997
『ジュラシックパーク3』2001
『ジュラシックパーク4』2003
『ジュラシックパーク5』2008
『ジュラシックパーク6』2013
『ジュラシックパーク7』2015
『ジュラシックパーク8』2018
『ジュラシックパーク9』2021
『ジュラシックパーク10』2023

63 映画音楽を聴こう

映画『ハリー・ポッターと賢者の石』では、登場人物や特定の情景、状況などによって決められた音楽が、全編を通して繰り返し用いられている。それによって内容がより分かりやすくなり、各場面が印象的になっていく。この手法は「leitmotif」（leitmotiv）と呼ばれる。leitmotivは「leitmotiv」と呼ばれる。leitmotivは「leitmotiv」と呼ばれる。leitmotivは「leitmotiv」と呼ばれる。

音楽と映画の場面との結び付きに注目した鑑賞教材

（教科書P.62・63）

オペラ

モーツァルトのオペラ(ジグシュピール)《魔笛》に3つの観点からアプローチしています。まず口絵では、舞台の様子を大きく掲載し、音楽の世界へといざないます。また、歌唱教材と鑑賞教材それぞれにアリアを厳選。歌唱教材のアリアは、原語だけでなく、声楽家の宮本益光氏による日本語詞も併せて掲載しているで、心情を捉えやすく表情豊かに歌うことができます。

口絵

メトロポリタン・オペラ2017年公演から



(教科書 P.2・3)

表現(歌唱)

●アリア：《Der Vogelfänger bin ich ja》 (オイラは鳥刺し)

50

ディエッ フォーグルフエンガー ピン イッヒ ヤー
Der Vogelfänger bin ich ja (オイラは鳥刺し)
(オペラ《ジグシュピール》《魔笛》から)
エマヌエル・カネーダー 作詞/宮本益光 日本語詞/ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト 作曲

Andante

Der Vo - gel - fän - ger - bin ich ja, stets - la - stig, hei - ßa, hep - sa - sa! Ich
オイラ は とりさし ババゲーノ ゆかい に 鳥さ も 刺さ サ! オイ

Vo - gel - fän - ger - bin be - kannt bei Alt und Jung im gan - zen Land.
オウはだれもがしる ゆうめいじん わかも も じいちゃんも

Weiß mit dem Lo - cken - um - zu - gehn und mich auf Plei - fen.
おびきよめるもの だといふ エを ならすのは

1 オクターブ高く 892

zu ver - stehm.
お つか つかんめい
めいじん げい

Dum, kann ich froh - und - la - stig sein, denn.
とり と オイラとは ともだち だか

(教科書 P.50)

●オペラ《ジグシュピール》《魔笛》K.620から
ソプラノ 《復讐の心は地獄のように胸に燃え》
Der Hölle Rache kocht in meinem Herzen
ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト 作曲

モーツァルト(1756～1791)のオペラの多くはイタリア語の台本によるものだが、ドイツ語の作品もいくつか残されている。シカネーダー(1751～1812)のドイツ語の台本による《魔笛》は、1791年にウィーンで初演された。このアリアは、夜の女王が宿敵ザラストロに対する怒りに燃え、娘のパミーナに彼を殺すよう強要する場面で歌われる。高音域で装飾的かつ技巧的な歌唱法を用いた、ソプラノ歌手の技術が試される曲であり、聴かせどころの一つにもなっている。

Allegro assai

24

・ mehr

鑑賞

102

オペラ・アリアを味わおう

オペラは、16世紀末にイタリアのフィレンツェで生まれ、その後イタリアを中心にヨーロッパ各地で発展した。18世紀末には、多くの作曲家がイタリアによるオペラの作曲に熱心となり、19世紀になると、個性を重んずるロマン主義の音楽も登場。各曲で特徴的なオペラが盛んに作られた。ここでは、歌手にとって最大の難関どころである見せ場でもある「アリア」の名曲を挙げてみる。

●鑑賞のポイント

さまざまな音楽表現を使い、それぞれの曲の特徴やよさをとらえ、話し合おう。

●オペラ《リゴレット》から
テノール 《女の歌》
La donna è mobile ジョゼッペ・ヴェルディ 作曲

ヴェルディ(1813～1901)のオペラ《リゴレット》は、1851年にヴェネツィアで初演された。特色なマントヴァ公爵に仕える運命の女リゴレットとその愛する男で暮らすこの歌劇では、物語や登場人物の感情が劇的な音楽で表現されている。このアリアは、マントヴァ公爵が女性を口説く場面で歌われる。歌い出しの「風の中の羽のように」をそのまま曲名にすることもあり、安心を誘うようにたえて軽快に演奏される。旋律の美しさを堪能しよう。初演の翌日にはヴェネツィアの市中でもよく歌われたと伝えられている。

●オペラ《トゥーランドット》から
ソプラノ 《誰も寝てはならぬ》
Nessun dorma ジャコモ・プッチーニ 作曲

プッチーニ(1858～1924)の遺作となったオペラ《トゥーランドット》は、1926年にミラノで初演された。物語はいつのころかからない伝説の中国の北京の舞台となっており、音楽には東洋風の情調が取り入れられている。このアリアは、トゥーランドット姫が異国の王子(カラフ)の名前を夜明けまでに聞き出すよう家来たちを命じる場面後に歌われる。カラフは「私も名を知ることはできる」と姫への愛と勝利を確信し、異国の宮にそれを告げよう、と彼女への愛を甘美な旋律にのせて高らかに歌い上げる。

●オペラ《ジグシュピール》《魔笛》K.620から
ソプラノ 《復讐の心は地獄のように胸に燃え》
Der Hölle Rache kocht in meinem Herzen ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト 作曲

モーツァルト(1756～1791)のオペラの多くはイタリア語の台本によるものだが、ドイツ語の作品もいくつか残されている。シカネーダー(1751～1812)のドイツ語の台本による《魔笛》は、1791年にウィーンで初演された。このアリアは、夜の女王が宿敵ザラストロに対する怒りに燃え、娘のパミーナに彼を殺すよう強要する場面で歌われる。高音域で装飾的かつ技巧的な歌唱法を用いた、ソプラノ歌手の技術が試される曲であり、聴かせどころの一つにもなっている。

●オペラ《トリスタンとイゾルデ》から
ソプラノ 《愛の死(復讐かすかな彼のほろえみ)》
Mild und wie er schlief
リヒャルト・ワーグナー 作曲

ワーグナー(1813～1883)は、従来のオペラを改革して劇の音楽と音楽をより一體化させた。自らの理想を実現すべく「楽劇」を創出した。楽劇として最初の作品である《トリスタンとイゾルデ》は、1865年にミュンヘンで初演された。このアリアは、許されざる愛のために死に就いた恋人トリスタンに寄り添い、イゾルデが自ら死を迫る物語の最後で歌われる。音楽曲の展開に準じ、物語の重要な場面ではしばしば現れる不安定な音階の和音(トリスタン和音)が、最後には安定した響きの和音に変化し、恋人たちの愛の物語を暗示して幕を閉じる。

●2曲目 Invitation to Music! ●98曲目 音楽を聞き取りさまざまな表現

(教科書 P.102)

デジタル・コンテンツの活用につなげる

コンピュータの発展とともに、音楽をコンピュータで制作する「DTM(デスク・トップ・ミュージック)」が進化し、近年ではDAW(Digital Audio Workstation)ソフトによる音楽制作が主流となっています。MOUSA2では、その基本的な制作方法の例を紙面に再現し、デジタル・コンテンツを活用した創作につながるよう試みました。



(参考)DAWソフトによる音楽制作の画面

創作

創作の手順を丁寧に示しています。

創作4では、ダンス・ミュージックの一つである「EDM(Electronic Dance Music)」を取り上げました。4つ打ちを基本としたリズム・パターンや短いフレーズの反復、循環コードなど、創作のヒントがあふれています。

創作4 EDM(エレクトロニック・ダンス・ミュージック)をつくらう

EDM(Electronic Dance Music)は、シンセサイザーなどの電子音を用いたダンス・ミュージックの一つである。明確な定義はないが特徴として、1小節に4分音符を4つ打つバス・ドラムのリズムの他、短いフレーズを繰り返し用いたり、既存の曲や音源の一部を流用して再構築したりする手法などが挙げられる。これらの特徴をもとにEDM風の曲をつくらう。

- EDMを聴いてみよう。**
EDMは、リズム、メロディー、ベース、ハーモニーで構成されていることが多い。まずは、下に挙げた参考曲などを聴き、音色、リズム、テンポなど、音楽のさまざまな要素の働きを理解し、創作のイメージを膨らませよう。
参考曲: アヴィーチー[Levels] / MONDO GROSSO[Slow it down] / マデソン[Carus] / マシュメロ[Alone]
- リズム・パターンを選ぼう。**
下の例1～例4は、EDMでよく使われるバス・ドラム(BD)、スネア・ドラム(SD)、ハイハット・シンバル(HH)のリズム・パターンである。それぞれの演奏を聴いて、好きなものを1つ選ぼう。また、選んだリズム・パターンにはどのようなメロディーが合うのか想像しよう。

例1 ♩ 126～132くらい

例2 ♩ 126～132くらい

例3 ♩ 126～132くらい

※クロースド奏法 ○ オープン奏法

- 8小節のメロディーをつくらう。**
手順1 八長調の音階の中から「ド・レ・ミ・ソ・ラ」の5音のみを用いて、まずは2小節のメロディーをつくらう。その際、キーボードなどで音を確認しながらつくるとよい。
手順2 つくった2小節のメロディーの音型やリズムを反復、変化させて8小節のメロディーをつくらう。その際、曲を繰り返し演奏できるように終わり方も工夫しよう。

例 ソをドに変え

1～2小節を反復させる

後半に高音を用いて高潮帯を出す

※少し落ち着いた感じにする

- コード進行を選ぼう。**
下の「コード進行のパターン例(ハ長調の場合)」を参考に、キーボードなどで音を確認しながらコード進行を選ぼう。

コード進行のパターン例(ハ長調の場合)

- Am-F-G-C
- Am-F-C-G
- C-G-Am-F

ヒント 先にコード進行を決めてからメロディーをつくる方法もある。⑤と⑥で試行錯誤を繰り返しながら進めよう。

例 Am-F-G-Cのコード進行を選択

※青色の音符はルート(仮名)を示している。

- ベースとハーモニーを付けよう。**
コードのルートを用いてベースを付けよう。また、響きのバランスや構成音の配置を考えてハーモニーも付けよう。

例 メロディーとベースとの響きのバランスを考えながら、演奏しやすい配置にする

※より低いコードのルートを用いて響きを安定させ、リズムは4分音符を中心に、8分音符で変化を付ける

※前の1小節を繰り返し出す記号

- 作品ができあがったら発表し合い、意見を交換しよう。**
⑤までにつくった8小節のメロディー、ベース、ハーモニーそれぞれの音色を考え、全体を2～4回繰り返し流して曲が聴けるようにしよう。その際、音がだんだん小さくなって消える形(フェードアウト)にするとよい。発表する際は、工夫した点などをプレゼンテーションし、互いの作品について意見を交換しよう。

チャレンジ 完成したメロディー(I)に、もう一つのメロディー(II)をつけて重ねよう。もう一つのメロディーはコードの構成音を中心につくらう。Iが動いているところでは、IIの動きを少なくすると、互いのパートがより引き立つようにリズムを工夫しよう。

例 音階の長い音符を中心としたIIのメロディー

ヒント Iを数回繰り返し流してからIIを重ねたり、IIを前奏にして曲の冒頭に加えたりしてもよい。

DAWソフトを使ってみよう

ほとんどのEDMはコンピュータのDAW(Digital Audio Workstation)ソフトを使用して作られている。それぞれ仕様は異なるが、基本的な操作の手順は次のとおりである。

- ①パートごとにトラック(音色を分ける部屋)を作る。
- ②パートごとに音色を決める。
- ③拍子、テンポを設定する。
- ④パートごとに音を入力する(「打ち込む」といいう)。

音の入力には、ソフト上の五線譜に音符を入力していく方法もあるが、ピアノロールという画面に音を入力していくのが一般的である。また、あらかじめ録音されている音そのままだトラックに貼り付けていく方法もある。DAWソフトが進化したことによって、近年はこれらの手法で作られる楽曲も多い。

※ギター/キーボード・コード表 116ページ

(教科書P.60・61)

QRコンテンツの音源を利用して、選んだリズム・パターンを再生しながら、メロディーやコード進行を考えることができます。また、作品例も聴くことができます。

リズム・パターン例1

例1 ♩ 126～132くらい

令和5年度 MOUSA2 掲載曲

曲 名		作 曲
歌 唱 ・ 器 楽	Alleluja	W.A. モーツァルト
	SUN	星野 源
	歩いて帰ろう	斉藤和義
	One more time, One more chance	山崎将義
	糸	中島みゆき
	ハナミズキ	マシコタツロウ
	ソルフェージュ	
	Prelude Ⅲ	三宅悠太
	誰かがちいさなベルをおす	木下牧子
	浜辺の歌	成田為三
	からたちの花	山田耕作
	Kaimana Hila	C.E. キング
	Happy Birthday to You	P.S. ヒル, M.J. ヒル
	Crazy G	作曲者不詳
	天体観測	藤原基央
	Funiculi-Funiculà	L. デンツァ
	Nel cor più non mi sento(うつろな心)	G. パイジエッロ
	Vaga luna, che inargenti(優雅な月よ)	V. ベッリーニ
	Quando me n' vo, soletta per la via (私が町を歩くと)	G. ブッチーニ
	Je te veux(あなたがほしい)	E. サティ
	Sehnsucht nach dem Frühlinge(春への憧れ)	W.A. モーツァルト
	Der Lindenbaum(菩提樹)	F. シューベルト
	Der Vogelfänger bin ich ja(オイラは鳥刺し)	W.A. モーツァルト
	夏は来ぬ	小山作之助
	夏は来りぬ	作曲者不明
	冬	A. ヴィヴァルディ
	ソナチネ	W.A. モーツァルト
	シンコペーテッド・クロック	L. アングサン
	The Phantom of the Opera	A. ロイド＝ウェバー
	All I Ask of You	A. ロイド＝ウェバー
	長唄《越後獅子》から	九世杵屋六左衛門
	涙そうそう	BEGIN
	安里屋ユンタ	宮良長包
	おばば	岐阜県民謡
	〈一段〉《三段の調》から	久本玄智
	ラ・クンパルシータ	G.M. ロドリゲス
	愛のロマンス	スペイン民謡
	Tears In Heaven	E. クラプトン, W. ジェニングス
	Can't Take My Eyes Off Of You (君の瞳に恋してる)	B. クルー, B. ゴーディオ
	We've Only Just Begun(愛のプレリュード)	P. ウィリアムズ, R. ニコルズ
	上を向いて歩こう	中村八大
	赤とんぼ	山田耕作
	タぐれ	佐井孝彰
	明日の木	三宅悠太

タイトル赤字は新規掲載もしくは企画を変更したものの			
曲 名		作 曲	
鑑賞	映画『ハリー・ポッターと賢者の石』	J.ウィリアムズ	
	ミュージカル《オペラ座の怪人》	A.ロイド＝ウェバー	
	日本の伝統音楽	琵琶楽 薩摩琵琶《川中島》	初世吉水錦翁
		文楽《冥途の飛脚》から《封印切の段》	近松門左衛門
		歌舞伎《京鹿子娘道成寺》	初世杵屋弥三郎 (初世杵屋作十郎 補曲)
	世界の諸民族の音楽	スئمム(僧舞)(韓国)	
		コーン(タイ)	
		バリ島のケチャ(インドネシア)	
		パラタナーティヤム(インド)	
		セマー(旋回舞踊)(トルコ)	
		チャールダーシュ(ハンガリー)	
		フラメンコ(スペイン)	
		マサイ族の踊り(ケニア, タンザニア)	
		アルゼンチン・タンゴ(アルゼンチン)	
		フラ(ハワイ)	
	《和声と創意の試み》第1集(四季)から〈冬〉		A.ヴィヴァルディ
	《ブエノスアイレスの冬》		A.ピアソラ
	交響曲第41番 八長調 K.551《ジュピター》から第4楽章		W.A.モーツァルト
	オペラ《リゴレット》から〈女心の歌〉		G.ヴェルディ
	オペラ《トゥーランドット》から〈誰も寝てはならぬ〉		G.ブッチーニ
	オペラ(ジグシュピール)《魔笛》K.620から〈復讐の心は地獄のように胸に燃え〉		W.A.モーツァルト
	楽劇《トリスタンとイゾルデ》から愛の死〈優しくかすかな彼のほほえみ〉		R.ヴァーグナー
	演奏会用狂詩曲《ツィガーヌ》		M.ラヴェル
	連作歌曲集《冬の旅》D911		F.シューベルト
	《ハンガリアン・ロック》		G.リゲティ
	弦楽六重奏のための《180 beats per minute》		J.ヴィトマン
ピアノ・ソナタ第14番 嬰ハ短調 op.27-2《月光》から第1楽章		L.v.ベートーヴェン	
ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調 op.73《皇帝》から第1楽章		L.v.ベートーヴェン	
交響曲第7番 イ長調 op.92から第1楽章		L.v.ベートーヴェン	
弦楽四重奏曲第14番 嬰ハ短調 op.131から第1楽章		L.v.ベートーヴェン	

●平成30年度版から削除した曲

【歌唱・器楽】東京 VICTORY / 椰子の実 / 楓 / Prelude I / Nessun dorma! / Après un rêve / Sherry / アンパンマンのマーチ / E-TEN-RAKU / 情景(バレエ音楽《白鳥の湖》から) / ソナタ(コートヴィル) / 愛のテーマ(映画『ニュー・シネマ・パラダイス』から) / Die Lotosblume / 夢やふれて(ミュージカル《レ・ミゼラブル》から) / Amazing Grace / ていんさくぬ花 / ビルカ ビルカ / 斎太郎節 / 祭の夢 / フラメンコのバルマ / 人生のメリーゴーランド / 秋のあじさい / はなさくら / 幼き日のアルバム

【鑑賞】あなたのとりこ / シェリーに口づけ / ラ・クンパルシータ / イパネマの娘 / マッシュ・ケ・ナダ / バレエ《白鳥の湖》 / 文楽《冥途の飛脚》から〈淡路町の段〉 / モンゴルの民族舞踊(モンゴル) / パヌアツの民衆の踊り(パヌアツ) / 《ヴァイオリン・ソナタ イ長調》から第4楽章 / オペラ《エジプトのジュリオ・チェザレ》から〈もし私に憐れみを感じてくだらないのなら〉 / オペラ《フィガロの結婚》から〈もう飛ぶまいぞ、この蝶々〉 / オペラ《セビーリヤの理髪師》から〈今の歌声は〉 / 《レクイエム》二短調 / 《ルーマニア民俗舞曲》 / ドレスラーの行進曲による9つの変奏曲 / 交響曲第6番 へ長調《田園》から第1楽章 / 弦楽四重奏曲第13番 変ロ長調から第5楽章(カヴァティエナ)

QRコンテンツの充実

音声や動画などの充実したQRコンテンツを用いて、実際に視聴しながら確認することにより、知識の習得を確かなものにします。

ウクレレ

MOUSA1に引き続き、MOUSA2でもウクレレを取り上げています。
QRコンテンツでは、ウクレレの奏法を動画で確認することができます。

●掲載曲：《Kaimana Hila》(教科書 P.30)／《Happy Birthday to You》(教科書 P.31)／《Crazy G》(教科書 P.31)

楽器の奏法などの説明と楽譜を見開きに配置し、学習に取り組みやすい紙面構成になるよう工夫しています。



30 ウクレレ Kaimana Hila

チャールズ・E. キング 作曲・作曲／長谷部裕介 編曲・楽譜構成

♩: ダウンストローク ♪: アップストローク

2分音符を示す

ストローク奏法で伴奏しよう

《Kaimana Hila》とは、ハワイのオアフ島にある火山ダイヤモンド・ヘッドのことであり、周辺の自然を盛り込んだ曲の歌いながら、ストローク奏法で伴奏しよう。ストロークとは、左手でコードを押さえる、右手の人さし指で弦を弾く奏法である。4本の弦をできるだけ同時に鳴らすようにして、第4弦から第1弦に向かって手首を支点に振り下ろして弾く「ダウンストローク」に、第1弦から第4弦に向かって弾く「アップストローク」を加えたリズムで演奏しよう。

使用するコード

チューニング

ダイアグラム

TAB(タブ)譜の読み方

TAB譜では4本の弦線がウクレレの各弦を表しており、上から順に第1弦、第2弦となっている。数字は押さえるフレット番号を示し、音の長さや休符は普通の楽譜と同じように表す。

Happy Birthday to You

P.S. ヒル、M.J. ヒル 作曲・作曲／長谷部裕介 編曲・楽譜構成

7 8 9 10 11 12

「ウクレレソロ」に挑戦しよう

「ウクレレソロ」とは、メロディーとコードを組み合わせて弾くスタイルである。《Happy Birthday to You》をTAB譜を見ながらソロ演奏しよう。

この曲ではメロディーとコードを全て右手の親指の腹で弾く。弾いた後に隣の弦に指を当てて止めるようにすると、メロディーを際立たせることができる。

「ジャコソロ」に挑戦しよう

「ジャコソロ」とは、ウクレレソロの演奏スタイルの一つ。コードを押さえてストロークで演奏するときと同様に、右手の人さし指で「ジャコジャカ」と弾くのでこう呼ばれている。TAB譜どおりに弾くと自然にメロディーが浮かび上がってくる。ハワイで子どもから大人まで幅広く演奏されている《Crazy G》をジャコソロで演奏しよう。

31 ウクレレ Happy Birthday to You

P.S. ヒル、M.J. ヒル 作曲・作曲／長谷部裕介 編曲・楽譜構成

7 8 9 10 11 12

ストロークのリズム

「ジャコソロ」に挑戦しよう

「ジャコソロ」とは、ウクレレソロの演奏スタイルの一つ。コードを押さえてストロークで演奏するときと同様に、右手の人さし指で「ジャコジャカ」と弾くのでこう呼ばれている。TAB譜どおりに弾くと自然にメロディーが浮かび上がってくる。ハワイで子どもから大人まで幅広く演奏されている《Crazy G》をジャコソロで演奏しよう。

Crazy G

作曲者不詳／長谷部裕介 編曲・楽譜構成

♩: 120-160

ストロークのリズム

「ジャコソロ」に挑戦しよう

「ジャコソロ」とは、ウクレレソロの演奏スタイルの一つ。コードを押さえてストロークで演奏するときと同様に、右手の人さし指で「ジャコジャカ」と弾くのでこう呼ばれている。TAB譜どおりに弾くと自然にメロディーが浮かび上がってくる。ハワイで子どもから大人まで幅広く演奏されている《Crazy G》をジャコソロで演奏しよう。

実際の奏法を動画で確認することができます。

(教科書 P.30・31)

ギター

段階を踏んだストローク奏法の学習をはじめ、アルペジオ奏法など、ギターのいろいろな奏法を実際に動画で確認することができます。

●掲載曲：《天体観測》(教科書 P.32・33)／《愛のロマンス》(教科書 P.83)

《Tears In Heaven》(教科書 P.84・85)



ギターの奏法を動画で確認

各コードの押さえ方を動画で確認することができます。



和楽器

各学校の実態に応じてさまざまな和楽器を選択できるよう、三線、篠笛、箏の3種類を取り上げました。それぞれの奏法を動画で確認することができます。

箏による〈一段〉の演奏



和楽器の演奏を動画で鑑賞

外国の歌曲

原語歌詞の朗読とリズム読みの音声を聴くことができます。

●イタリア語の歌曲…掲載曲：《Funiculì-Funiculà》(教科書 P.37)

《Nel cor più non mi sento(うつろな心)》(教科書 P.38・39)

《Vaga luna, che inargenti(優雅な月よ)》(教科書 P.40・41)

《Quando me n' vo, soletta per la via(私が町を歩くと)》(教科書 P.42)

●ドイツ語の歌曲……掲載曲：《Sehnsucht nach dem Frühlinge(春への憧れ)》(教科書 P.47)

《Der Lindenbaum(菩提樹)》(教科書 P.48・49)

《Der Vogelfänger bin ich ja(オイラは鳥刺し)》(教科書 P.50)

●フランス語の歌曲…掲載曲：《Je te veux(あなたがほしい)》(教科書 P.44)



その他の資料

ソルフェージュ

116 ギター／キーボード・コード表

ダイアグラム
●押さえる位置 x…押さない弦 ●ルート | セーハ…左手の人さし指などで2本以上の弦を同時に押さえる
1…人さし指 2…中指 3…薬指 4…小指 ダイアグラムの下の数字…フレット番号

キーボード
●押さえる位置 ●押さえる際ベース音に使う ●和音の構成音

	C	C [♯] /D [♭]	D	D [♯] /E [♭]	E	F
メジャー						
セブンス						
M7 メジャーセブンス						
m マイナー						
m7 マイナーセブンス						
dim7 ディミニッシュ セブンス						
sus4 サスフォー						
コード オープンコード						

コード表
Cコード
Dコード
Eコード
Fコード
ベース音

(教科書 P.116・117)

音を聴き取る練習

ピアノの音を聴き取って、[]内に音を書き入れよう。

①

②

③

リズムを聴き取る練習

リズムを聴き取った後、続けてそのリズムを手拍子で打とう。

④

⑤

⑥

⑦

(教科書 P.20)

演奏例を再生することで、
各自で聴き取り課題を実施することができます。

その他、リップロールや
ボディー・パーカッションの
演奏例も動画で
確認することができます。

こちらのQRコードより、実際の
QRコンテンツをご視聴いただけます。



年間指導計画例

月	配 当 時 間	題材名	題材のねらい	学習目標	主な教材
4 5 6 7	3	曲想を感じ取って、曲にふさわしい発声で歌おう	発声練習に適した曲や親しみやすい曲、歌いやすい曲を通して、発声などの技能を身に付けながら、表現を工夫して個性豊かに歌うとともに、主体的・協働的に学習に取り組む意欲を高める	曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する	Alleluja 「ヴォイス・トレーニング」 糸 Funiculi-Funiculà
	4	リズムにのってアンサンブルをしよう	ボーディー・パーカッションやキーボードなどによるアンサンブルを通して音色や奏法、表現を工夫し、他者と協働しながら演奏する喜びを味わう	曲想と音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する	ソルフェージュ(リズム) Prelude Ⅲ シンコペーテッド・クロック
	4	ポップスの特徴を理解して歌おう	日本や外国のポップスをリズムにのって歌ったり、曲に込められた思いを味わったりしながら、曲想と歌詞との関わりなどを理解し、個性豊かに歌う	曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する	SUN/歩いて帰ろう/One more time, One more chance/ハナミズキ/Can't Take My Eyes Off Of You/We've Only Just Begun 「ルールを守って音楽を楽しもう！」
	4	変奏や編曲に挑戦しよう	身近な曲の旋律をもとに、音楽を形づくっている要素の働きを変えることで、曲のもつ表情や雰囲気を変化させ、個性豊かに変奏や編曲をする	音を連ねたり重ねたりしたときの響きの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めるとともに、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能を身に付け、個性豊かに創作表現を創意工夫する	「旋律の雰囲気を変化させよう」 「演奏スタイルを変化させよう」
	4	表現を工夫してリコーダーを演奏しよう	リコーダーの独奏やアンサンブルを通して、曲にふさわしい奏法を身に付けるとともに、音色や表現を工夫して個性豊かに演奏する	曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する	夏は来りぬ 冬 ソナチネ
	4	音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう	さまざまな楽器が生み出す響きやその特徴が、どのような要素やそれらの働きによってもたらされているのかを探るとともに、音楽のよさや美しさを深く味わう	音楽を形づくっている要素やそれらの働きに注目しながら曲を聴き、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深めるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴く	「音楽を織りなすさまざまな要素」/〈四季〉から〈冬〉/〈ブエノスアイレスの冬〉/ 交響曲第41番《ジュピター》から第4楽章/〈ツィガース〉/〈ハンガリアン・ロック〉/ 弦楽六重奏のための《180 beats per minute》/「西洋音楽の流れ」
	3	日本の伝統音楽と郷土の芸能について知ろう	実際に長唄を体験したり、日本の伝統音楽や郷土の芸能を鑑賞したり調べたりしながら、それぞれの特徴に対する理解を深めるとともに、その魅力を味わう	長唄の言葉の特性と発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果と、日本の伝統音楽や郷土の芸能の特徴を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いたり、個性豊かに歌唱表現を創意工夫したりする	歌唱：長唄《越後獅子》から 鑑賞：薩摩琵琶《川中島》/ 文楽《冥途の飛脚》から《封印切の段》/ 歌舞伎《京鹿子娘道成寺》 「日本音楽の流れ」/「郷土の芸能～風流踊」
9 10 11 12	8	日本や諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して独唱しよう	さまざまな言語による歌曲に親しみ、それぞれの特徴を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、表現を工夫して個性豊かに独唱する	曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いたり、個性豊かに歌唱表現を創意工夫したりする	歌唱：「詩の心を大切に歌おう」/「日本語の歌詞の歌い方」/ 誰かがちいさなベルをおす/ 浜辺の歌/ からの花/「からの花 大解剖!」 Nel cor più non mi sento/Vaga luna, che inargenti/Je te veux/Sehnsucht nach dem Frühlinge/Der Lindenbaum 鑑賞：連作歌曲集《冬の旅》
	2	映画音楽を鑑賞しよう	音楽と映像との結び付きや、音楽によって映画の場面や登場人物の心情がどのように表現されているかについて考えながら鑑賞し、映画音楽の魅力を味わう	曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深めるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴く	「映画を彩る音楽」 「映画音楽を聴こう 映画『ハリー・ポッターと賢者の石』」
	4	和楽器に親しみ、表現を工夫して演奏しよう	和楽器に親しみ、その音色や表現の特徴を味わうとともに、奏法を身に付け、音色や表現を工夫して個性豊かに演奏する	曲想と和楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する	三線：涙そうそう/安里屋ユンタ 篠笛：おばば 箏：一段
	6	表現を工夫して合唱やヴォイス・アンサンブルをしよう	各パートの役割を意識するとともに、全体の響きや表現上の効果に留意しながら、表現を工夫して合唱やヴォイス・アンサンブルをする喜びを味わう	曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する	夏は来ぬ/上を向いて歩こう 赤とんぼ/タぐれ/明日の木
	6	構成を工夫した作品やEDM（エレクトロニック・ダンス・ミュージック）をつくろう	構成を工夫した作品づくりや、EDMの特徴を生かした作品づくりを通して、創作表現に必要な技能を身に付けるとともに、個性豊かな音楽作品をつくり出す面白さを体験する	音楽材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めるとともに、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能、及び旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付け、個性豊かに創作表現を創意工夫する	「構成を工夫して作品をつくらう」 「EDM（エレクトロニック・ダンス・ミュージック）をつくらう」
	4	ミュージカル・ナンバーを歌おう	物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して個性豊かに歌う	曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いたり、個性豊かに歌唱表現を創意工夫したりする	歌唱：The Phantom of the Opera All I Ask of You 鑑賞：ミュージカル《オペラ座の怪人》
1 2 3	2	世界の諸民族の音楽を知ろう	世界の諸民族の音楽を、身振りを伴う表現に着目して鑑賞したり演奏したりしながら、その音楽や表現の特徴を理解する	世界の諸民族の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めるとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いたり、個性豊かに器楽表現を創意工夫したりする	鑑賞：「世界の諸民族の音楽」 器楽：ラ・クンパルシータ
	6	表現を工夫してギターやウクレレを演奏しよう	ギターやウクレレの音色や表現の特徴を味わうとともに、奏法を身に付け、音色や表現を工夫して個性豊かに演奏する	曲想とギターやウクレレの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する	ギター：天体観測/愛のロマンス/Tears In Heaven ウクレレ：Kaimana Hila/Happy Birthday to You/Crazy G
	4	オペラに親しみ、アリアに挑戦しよう	物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して個性豊かに歌う	曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いたり、個性豊かに歌唱表現を創意工夫したりする	歌唱：Quando me n'vo, soletta per la via Der Vogelfänger bin ich ja 鑑賞：「オペラ・アリアを味わおう」
	2	作曲家の生涯と作品をたどろう	L.v. ベートーヴェンの生涯をたどりながら、それぞれの作品の特徴を理解し、魅力を味わう	曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴く	「クローズ・アップ・マエストロ」 L.v. ベートーヴェン

主な学習活動	学習指導要領の内容																	内容の 取扱い ※内容の取扱いの 大字は音楽1に 示されているもの
	A 表現									B 鑑賞		(共通事項)						
	(1)歌唱			(2)器楽			(3)創作			(1)鑑賞		音楽を形づくっている要素						
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	音色	リズム	速度	旋律	強弱	形式	
	ア イ ウ	ア イ ウ	ア イ ウ	ア イ ウ	ア イ ウ	ア イ ウ		ア イ ウ	ア イ ウ	ア イ ウ	ア イ ウ	音 色	リ ズ ム	速 度	旋 律	デ ラ テ テ	形 式	
・ 曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などに留意して歌い，表現に必要な技能を身に付ける	●	●	●	●	●	●						●	●	●	●	●	●	●
・ 歌ったり互いに聴き合ったりしながら，曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する																		
・ 音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら個性豊かに歌唱表現を工夫する																		
・ 曲にふさわしい音色，奏法，身体の使い方などに留意して演奏し，表現に必要な技能を身に付ける					●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●
・ 各パートの役割を意識するとともに，全体の響きの特徴を感じ取ったり，理解したりしながら，他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける																		
・ 曲の特徴を生かした表現ができるよう試行錯誤したり意見を交換したりしながら演奏する																		
・ 曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などに留意して歌い，表現に必要な技能を身に付ける	●	●	●	●	●	●						●	●	●	●	●	●	●
・ 歌ったり互いに聴き合ったりしながら，曲想と音楽の構造や歌詞，文化的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する																		
・ 音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら個性豊かに歌唱表現を工夫する																		
・ 旋律に音を加えたり，リズムや拍子，調などの音楽を形づくっている要素の動きを変化させたりして変奏する技能を身に付ける								●	●	●	●		●	●	●	●	●	●
・ 旋律に別の旋律を重ねたり，伴奏を付けたりして編曲する技能を身に付ける																		
・ 音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら個性豊かに創作表現を工夫する																		
・ 曲にふさわしい奏法や身体の使い方などに留意して演奏し，表現に必要な技能を身に付ける					●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●
・ 演奏したり互いに聴き合ったりしながら，曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する																		
・ 音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら個性豊かに器楽表現を工夫する																		
・ 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの動きを感じしながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，音楽のよさや美しさを深く味わって曲を聴く											●	●	●	●	●	●	●	●
・ 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて意見を交換し理解を深める																		
・ 曲や演奏に対する評価とその根拠を述べ合う																		
・ 長唄の言葉や唄い方の特性と発声との関わりを理解し，曲にふさわしい発声になるよう表現を工夫して唄う	●	●	●	●	●	●						●	●	●	●	●	●	●
・ 琵琶楽，文楽，歌舞伎及び各地に伝わる風流踊を鑑賞したり調べたりしながら，音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深める																		
・ 音楽表現の共通性や固有性について気付いたことや考えたことを述べ合う																		
・ 曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などに留意して歌い，表現に必要な技能を身に付ける	●	●	●	●	●	●						●	●	●	●	●	●	●
・ 歌ったり互いに聴き合ったりしながら，曲想と音楽の構造や歌詞，文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する																		
・ 音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら個性豊かに歌唱表現を工夫する																		
・ 曲や演奏に対する評価とその根拠を述べ合う																		
・ 場面の状況や雰囲気，登場人物の心情などが音楽によってどのように表現されているかに留意しながら映画を鑑賞し，曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深める												●	●	●	●	●	●	●
・ 曲や演奏に対する評価とその根拠を述べ合う																		
・ 曲にふさわしい奏法や身体の使い方などに留意して演奏し，表現に必要な技能を身に付ける					●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●
・ 演奏したり互いに聴き合ったりしながら，曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する																		
・ 音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら個性豊かに器楽表現を工夫する																		
・ 一人一人が主体的に歌いながら，他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける	●	●	●	●	●	●						●	●	●	●	●	●	●
・ 各パートの役割を意識するとともに，全体の響きや表現上の効果に留意しながら歌う																		
・ 音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら個性豊かに歌唱表現を工夫する																		
・ 楽器の音色の特徴を生かして主題をつくり，それを連ねたり重ねたりしながら2つのパートによる作品をつくる								●	●	●	●		●	●	●	●	●	●
・ EDMでよく使われるリズム・パターンに合う旋律をつくったり，コード進行をもとにベースとハーモニーを付けたりする																		
・ 反復，変化，対照などの手法を活用して旋律をつくったり，つくった旋律に副次的な旋律を重ねたりする技能を身に付ける																		
・ 音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら個性豊かに創作表現を工夫する																		
・ ミュージカルを鑑賞し，物語のあらすじや歌詞の内容，登場人物の心情などを理解するとともに，曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などに留意して歌い，表現に必要な技能を身に付ける	●	●	●	●	●	●						●	●	●	●	●	●	●
・ 歌ったり互いに聴き合ったり，意見を交換したりしながら，曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する																		
・ 音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら個性豊かに歌唱表現を工夫する																		
・ 世界の諸民族の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めながら鑑賞する					●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●
・ それぞれの音楽表現の共通性や固有性について気付いたことや考えたことを述べ合う																		
・ 《ラ・クンパルシータ》のリズム，旋律などの特徴を理解し，曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能を身に付ける																		
・ 曲にふさわしい奏法や身体の使い方などに留意して演奏し，表現に必要な技能を身に付ける					●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●
・ 演奏したり互いに聴き合ったりしながら，曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する																		
・ 音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら個性豊かに器楽表現を工夫する																		
・ オペラを鑑賞し，物語のあらすじや歌詞の内容，登場人物の心情などを理解するとともに，曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などに留意して歌い，表現に必要な技能を身に付ける	●	●	●	●	●	●						●	●	●	●	●	●	●
・ 歌ったり互いに聴き合ったりしながら，曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する																		
・ 音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら個性豊かに歌唱表現を工夫する																		
・ 曲や演奏に対する評価とその根拠を述べ合う																		
・ 作品を鑑賞したり，作曲家について調べたり，意見を交換したりしながら，曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深める												●	●	●	●	●	●	●
・ 曲や演奏に対する評価とその根拠を述べ合う																		

※内容の取扱いの太字は音楽1に示されているもの

【指導書の構成】

研究資料編・楽譜資料編・指導用CD・鑑賞用CD(セット販売)……定価未定

研究資料編

年間指導計画例とそれに対応した題材ごとの評価規準例、学習指導案例などを複数掲載しています。
授業を多角的にサポートする資料を掲載しています。
ソルフェージュの補充教材を掲載しています。
音楽史や楽典などに関するEXERCISEを掲載しています。

◆楽典に関するEXERCISEの例

◆指導のポイントと楽曲解説をまとめた紙面の例

指導のポイント

- 優しく語りかけるような気持ちでメロディーを楽しく歌い上げる。
- 4小節ごとのフレーズを意識して歌う。
- 原語歌詞の朗読(指導用CD①・21)やリズム読みの練習をし、滑らかに発音できるようにしてから歌う。
- イタリア語の語感やアクセントの位置に注意し、それらを生かした表現を心がける。
- 14～17小節の部分は、愛する気持ちを伝えるという意図をもって歌う。
- 語尾の「r」は、舌先を歯に軽く触れ、母音を軽く引き出すように歌う。
- の部分の原語歌詞は、子音の前に、母音を軽く引き出すように歌う。

(例)

1. ma - re - de - la

2. 子音を早めに発音し、音と母音を合わせるようにする。

(例)

Què - sic

楽曲について

ベッリーニの歌曲の中でもよく知られているメゾ・ソプラノのためのアリエッタ。この曲は、《3つのアリエッタ》の第3曲である。

■ヴィンチェンツォ・ベッリーニ Vincenzo Bellini 1801～1835：イタリア、シチリア島のカタニア生まれの作曲家。ロシニー、ドニゼッティと並んで、19世紀前半のイタリア・オペラを代表する存在である。1819年、ナポリ王立音楽院に入学し、在学中に作曲した最初のオペラ《アドルソとサルヴィーニ》で注目を集める。27年にミラノの台本作家ロマーニ(1788～1865)と出会い、《海賊》《夢遊病の女》《ノルマ》などの傑作を生み出した。ベッリーニの音楽は、流麗で美しい旋律が特徴であり、彼は「カタニアの白鳥」とも呼ばれていた。その順いやかな旋律美は、後のヴェルディやショパン、ヴァグナーにも影響を与えている。オペラ以外の作品としては、いくつかの宗教曲や器楽曲、数十曲ほどの歌曲がある。

204

年 月 日
 氏名

EXERCISE[楽典基礎編]

■ 次の各音の音名をドイツ語と日本語で書きなさい(1点、2点などの区別は書かなくてよい)。

ドイツ語 () () () () () () () ()
 日本語 [] [] [] [] [] [] [] []

ドイツ語 () () () () () () () ()
 日本語 [] [] [] [] [] [] [] []

■ 次の①～③の楽譜の拍子記号に合うように、縦線を書き入れなさい。

① ② ③

■ 次に示された音階の抜けている音を書き入れなさい。ただし、調号は用いないこと。

へ長調 イ短調和声的短音階
 イ短調旋律的短音階上行形 イ短調旋律的短音階下行形
 冲縄音階 12律音階

■ 次の楽譜の演奏順序をA-B-C…で()に書きなさい。ただし、D.C.後の繰り返しは省略すること。

()

※紙面はサンプルです。文章やデザインなどは変更になる場合があります。

楽譜資料編

歌唱教材の伴奏譜の他、移調譜や別の編曲なども随時取り上げ、指導の便宜を図っています。

指導用CD

歌唱と器楽の教材の模範演奏、カラピアノ、合唱曲のパート別演奏(一部)などを収録しています。
また、イタリア語、ドイツ語、フランス語の各歌曲は原語歌詞の朗読も収録しています。

鑑賞用CD

厳選した鑑賞教材(一部)を収録しています。

※ここに掲載した情報は平成30年度版の指導書をもとにしています。
内容、デザインなどは変更する場合がありますのでご了承ください。

検討の観点別に見た特色

	観 点	教科書の特色
範 囲	●取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。	●多様なジャンルから精選された教材によって必要な内容が十分に扱われており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。
程 度	●教材は生徒の心身の発達段階や能力の実態に適応しているか。	●歌唱教材においては、生徒の心情的な発達段階に応じた楽曲が取り上げられている。器楽教材においては、各学校の実態や生徒の習熟度に応じた楽曲が取り上げられている。また、鑑賞教材についても同様の扱いがなされている。
内 容	●教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。 ●(共通事項)は、学習指導を進めるうえで適切に扱われているか。 ●三つの柱を踏まえて、基礎的・基本的な学力の定着について適切な配慮がなされているか。 ●説明文やイラスト、写真などは、学習指導を進めるうえで適切であるか。 ●「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、配慮や取り組みはなされているか。 ●我が国や郷土の伝統音楽及び音楽文化に対する配慮がなされているか。	●幅広く変化に富んだ学習活動を行うことのできる教材が用意されており、生徒が興味・関心をもって意欲的に学習を進めることができるよう配慮されている。 ●表現及び鑑賞に共通する指導内容として(共通事項)に示された「音楽を形づくっている要素」に関する学習が示されており、その考え方の具体的なヒントとなる「音楽を織りなすさまざまな要素」が掲載されている。 ●教材の内容は、三つの柱(「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」)と相互に関連付けられており、基礎的・基本的な内容を学習することのできる教材や説明が適切に配列されている。 ●「思考力、判断力、表現力等」の育成を図ることができるよう、思考した内容を記述する例や生徒どうしの会話から曲の分析を行う教材などが掲載されている。 ●説明文は平易な文章で書かれており、その配置も工夫されている。 ●イラスト、写真の取り上げ方もアイデアにあふれ、音楽的感性を育成しながら知的理解を深められるよう配慮されている。 ●生徒が自ら主体的に学習活動を進められるように、各教材に学習内容や活動のポイントが明確に示されている。 ●創作の活動においては、生徒の能力に応じて弾力的に進められるよう配慮されている。 ●鑑賞の活動においては、日本独自の文化の中で育まれてきた音楽の特徴を感じ取ることができるよう配慮されている。器楽の活動においては、各学校の実態に応じて取り組めるよう3種類の和楽器が取り上げられている。歌唱の活動においては、長唄を体験することのできる教材が掲載されている。また、音楽的側面からだけでなく、文化的側面からも捉えられるよう配慮されている。
構 成	●小学校、中学校における学習内容との系統性、一貫性に配慮されているか。 ●各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮がなされているか。 ●教材の配列は適切であるか。 ●教材の分量は適切であるか。	●小学校、中学校の義務教育における音楽科の目標の上に立った内容の教科書となっている。 ●歌い継いでいきたい日本の歌を「心の歌」と題して小学校、中学校から一貫して取り上げており、日本の歌に対する配慮がなされている。 ●各教材に示された学習内容や活動のポイント、歌唱・器楽、資料の「ジャンル別MAP」などにより、各学校や生徒の実態に応じて学習指導計画を立てられるよう配慮されている。 ●表現教材と鑑賞教材との関連が図られており、複数の領域や分野を通じた題材設定がしやすいよう配慮されている。 ●学習指導要領の内容に即した教材が適切に配列されている。 ●表現教材と鑑賞教材との関連が図られているとともに、ページ間に張られたリンクによって、理解を深めたり関連付けたりすることができるよう随所に工夫がなされている。 ●豊富な分量の教材が扱われており、各学校や生徒の実態に応じて柔軟に対応できるよう配慮されている。
人 権	●国際理解、情報、環境、人権教育などに配慮されているか。	●全体を通して、人権教育に対する適切な配慮がなされている。また、諸外国の文化に対する理解を深めることについても配慮がなされている。 ●音楽に関する知的財産権について「ルールを守って音楽を楽しもう！」が掲載されており、生徒に分かりやすく説明されている。
体 裁	●全体の体裁は教科書として適切であるか。 ●印刷、製本などは適切であるか。 ●ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。	●A4判で楽譜が見やすく、紙面のレイアウトも統一感があり、教科書として適切なものとなっている。 ●表紙や扉からも音楽に対するメッセージが感じられる体裁となっている。 ●全ページにわたって美しいカラー刷りとなっており、楽譜、文字、イラスト、写真などが鮮明に印刷されている。 ●製本は長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。 ●再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境に十分な配慮がなされている。 ●全体に区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。 ●ユニバーサルデザインフォントが使用されており、誰もが読みやすい文章や楽譜となるよう配慮されている。
総 合 所 見	学習指導要領の内容に即した教材が適切に配列されている。確実に学習を進められるよう、各教材には学習内容や活動のポイントが示され、生徒の主体的な学習活動を促すとともに、指導者が歌唱・器楽、資料の「ジャンル別MAP」を使って、各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てられるよう配慮されている。QRコンテンツを利用して、各楽器の奏法や外国の歌曲の原語歌詞の発音などを視聴することができるため、自宅での予習や復習を効果的に行うことができる。	

別売 鑑賞参考教材ソフトについて

教科書に掲載されている「世界の諸民族の音楽」の授業展開を強力にサポートする鑑賞参考教材ソフトが、Blu-rayで登場！
迫力ある演奏のみならず、各国の風景や美しい民族衣装などの文化にも触れることができます。DVDをはるかに超える高解像度と、最新技術のマスタリングによる臨場感あふれるサウンドで楽しめます。



世界の民族音楽

- Blu-ray 1枚／収録時間202分 ● 価格19,800円(本体18,000円+税10%)
- 49か国、全86曲を収録
- 全ての映像について、各分野の研究者によるライナーノーツ付き

この他、音楽鑑賞DVDでは「日本の伝統芸能 編」と「民族編」を販売しています。どちらも鑑賞や音楽史の授業に最適です。



日本の伝統芸能 編

- DVD 1枚／収録時間126分
- 価格19,800円
(本体18,000円+税10%)
- 雅楽、琵琶楽、能楽、文楽、歌舞伎の成り立ちと魅力を紹介
- 鑑賞演目は副音声解説付き



民族編

- DVD 1枚／収録時間146分
- 価格19,800円
(本体18,000円+税10%)
- 38か国、全59曲を収録
- 民族音楽研究家、江波戸昭先生の解説付き

第1表

高等学校用教科書需要票

見 本

発行者	番 号	27	略 称	教芸	需 要 数	生徒用	150	冊
						教員用	2	冊
教科書	記 号	音Ⅱ	番 号	703		計	152	冊
	書名	MOUSA 2						

所在地
学校名
電 話

(全日制・定時制・通信制)

 教育芸術社

- 本 社 〒171-0051 東京都豊島区長崎1-12-14 TEL.03-3957-1175(代)
- 中部支社 〒460-0024 名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル8F TEL.052-678-3151(代)
- 関西支社 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1-14-17-601 TEL.06-6943-7245(代)
- 西部支社 〒751-0808 下関市一の宮本町2-7-14 TEL.083-256-4747(代)

ホームページ <https://www.kyogei.co.jp/>